

パイ

○…「営業スタッフとエンドユーザーの双方にメリットのあるタイヤパンク保証サービスを提供している」と話すのはゼ

アーウィンスリーサービスの
一戸翼執行役員。これまでの
タイヤパンク保証制度は「パ



ンクが起きた
際の対応が大
変」といった
営業スタッフ
からの声が多

かったという。こうした不満を減らすため、同社ではクラウド型のシステムを構築した。このシステムが好評で、現時点で6500店舗に導入が広がっている。

○…「今後の展開として、2019年上期には人工知能(AI)が自動判定する機能を追加する予定だ」と明かす。適用の可否をスムーズに判定し、補償の申請から承認を受けるまでのタイムラグを減らすことによって「さらなる利便性の向上につなげる」と意気込んでいた。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。